

土地・家屋の管理と生活についての町民調査 報告書

■調査名

土地・家屋の管理と生活についての町民調査

■対象者

3, 439世帯（※南部町にお住まいで、南部町に田畑、山林、家屋等を所有する方）

■調査期日

平成26年2月6日～3月30日

■回収数・回収率

回収数1, 351票

有効回収率39%

調査にご協力いただいた皆さまへ

皆さまには日ごろから南部町のまちづくりにご支援、ご協力を賜り心からお礼申し上げます。

平成26年2月に実施しました「土地・家屋の管理と生活についての調査」については、ご多忙中のところ、ご回答いただきありがとうございます。突然のお願いにもかかわらず、ご協力いただきましたこと、あらためて深く感謝申し上げます。

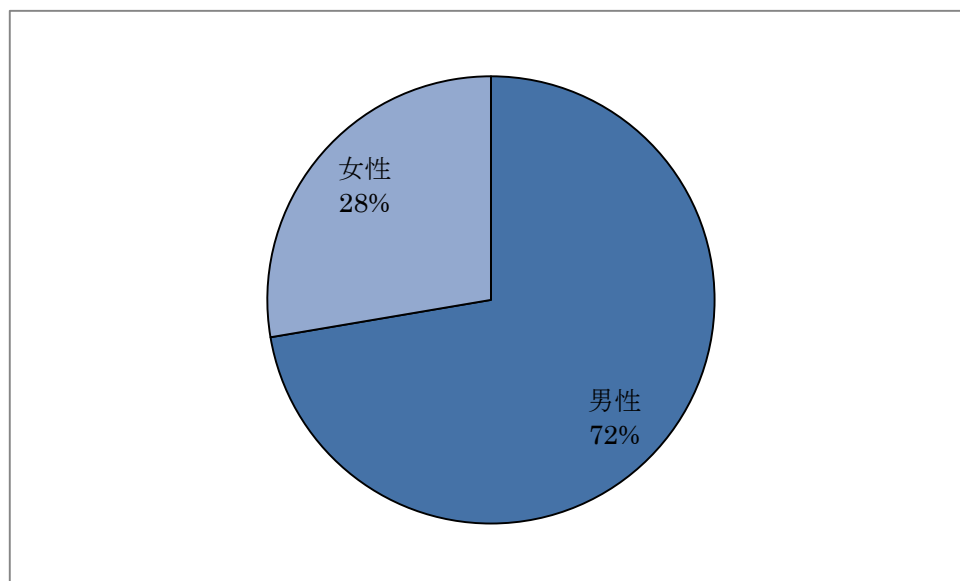
このたび、アンケートの集計結果ができましたので、簡単ではございますが一部をご紹介します。ご回答いただきました多くの質問の中から、項目をピックアップし、その集計結果をグラフの形でまとめました。ご覧いただけましたら幸いです。

今回の調査では、南部町にお住まいの方々が管理する田、畑、山林、家などに関することや日常の生活に関する考え方などをお伺いし、農地・山林・家屋の管理に関する施策に役立てる目的で実施しました。その結果多くの方々が、これらの財の管理に対し高いご関心と意欲的な姿勢をお持ちであることが分かりました。皆さまからいただいた貴重なご回答につきましては、今後はより詳細な分析を行い、暮らしやすいまちづくりを進めてまいります。

このたびはアンケート調査へのご協力、誠にありがとうございました。

南部町長 坂本 昭文

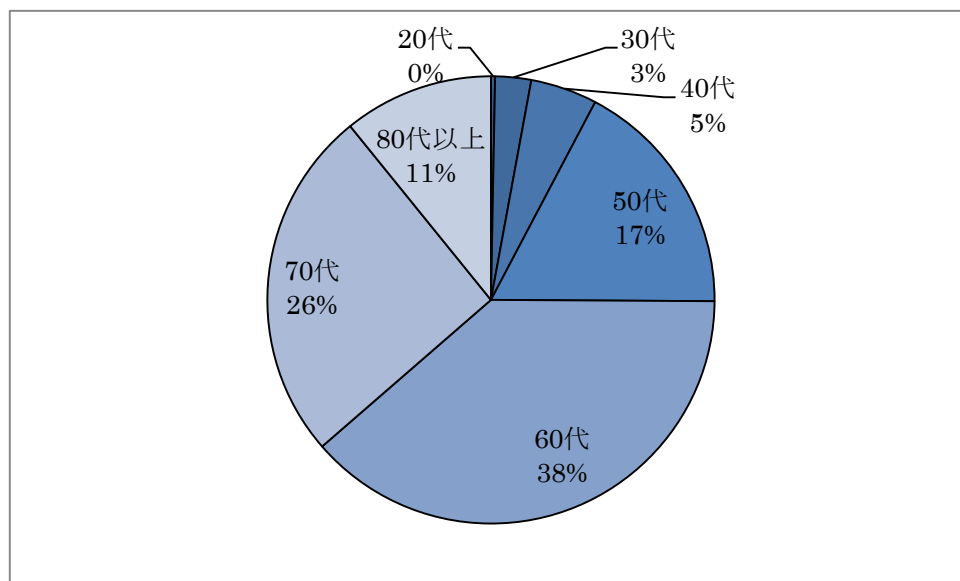
図1 性別



性別		
	度数 (人)	パーセント (%)
男性	975	72.3
女性	373	27.7
合計	1348	100.0

図1は、アンケート回答者の性別の分布を示したグラフである。回答者のうち72%が「男性」であり、28%が「女性」である。このアンケートでは各世帯で財産管理について詳しい人に調査を依頼している。ここから、各家庭において財産管理は男性が主体となって行っている可能性があるといえる。

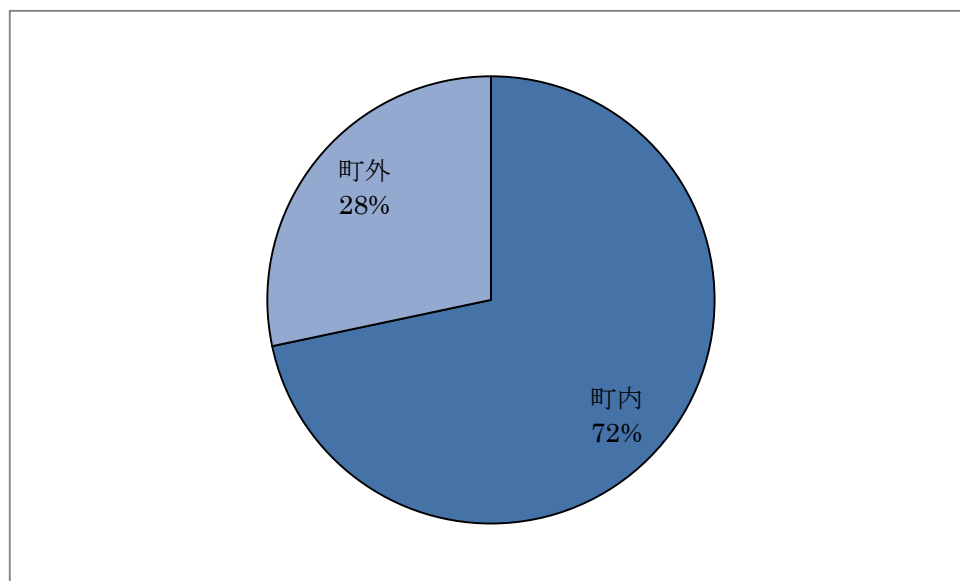
図2 年齢



年齢		
	度数 (人)	パーセント (%)
20代	4	.3
30代	35	2.6
40代	65	4.8
50代	234	17.4
60代	519	38.5
70代	344	25.5
80代以上	146	10.8
合計	1347	100.0

図2は、アンケート回答者の年齢の分布を示したグラフである。「60代」の割合が最も大きく、全体の38%を占めている。次いで割合の大きい方から、「70代」、「50代」、「80代以上」と続く。40代以下が占める割合は全体の10%に満たない。ここから、財の管理が60代以上の方々によって担われていると考えられる。

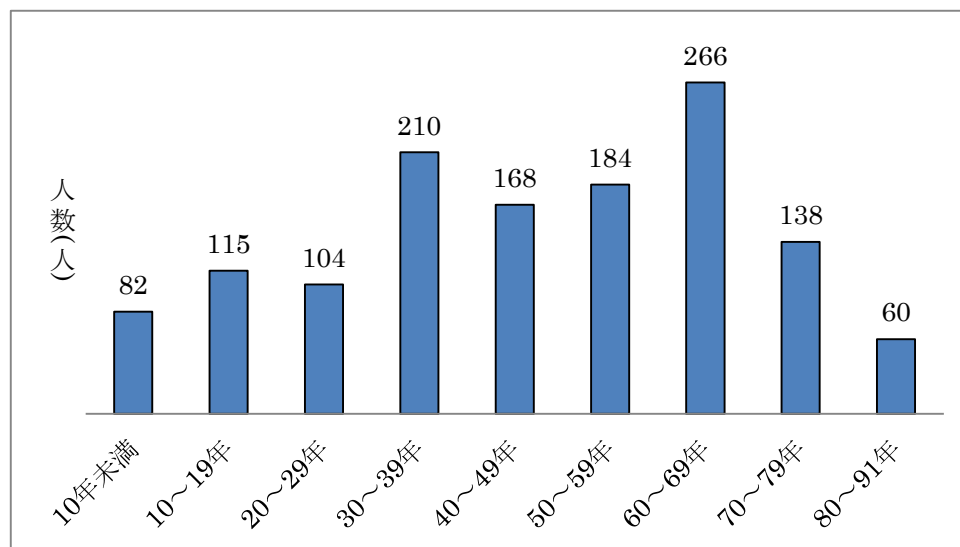
図3 出身地



出身地		
	度数 (人)	パーセント (%)
町内	962	71.7
町外	380	28.3
合計	1342	100.0

図3は、アンケート回答者の出身地を示したグラフである。南部町内の出身者が72%を占めている。町外の出身者は28%である。ここから、財産管理者の多くが南部町内出身である可能性があるといえる。

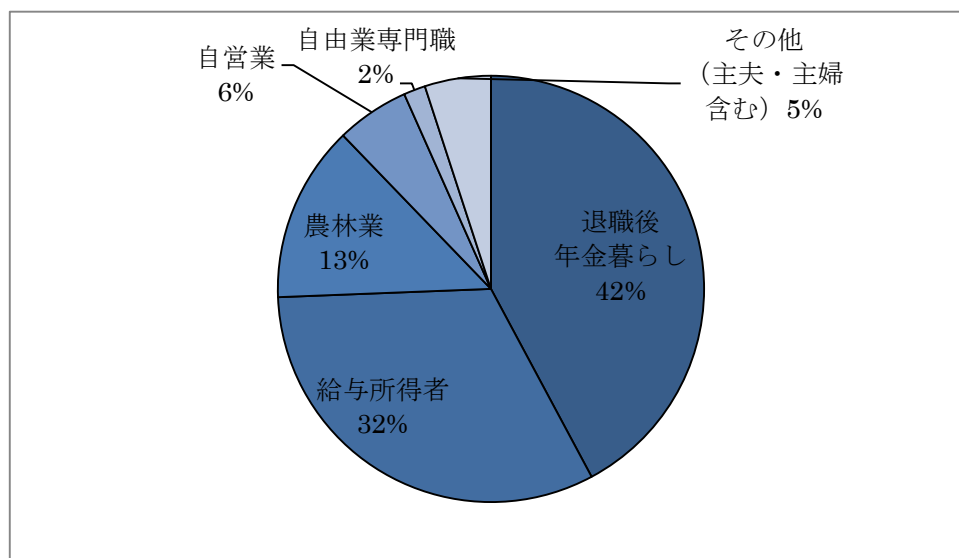
図4 居住年数



居住年数		
	度数(人)	パーセント(%)
10年未満	82	6.2
10~19年	115	8.7
20~29年	104	7.8
30~39年	210	15.8
40~49年	168	12.7
50~59年	184	13.9
60~69年	266	20.0
70~79年	138	10.4
80~91年	60	4.5
合計	1327	100.0

図4は、アンケート回答者の居住年数を示したグラフである。現在の居住地に住み始めてから「60~69年」経つと回答した方の割合がもっとも大きく、全体の20%を占めている。次いで「30年~39年」が16%となっている。他方で、30年未満と回答した方々の内訳は、「20~29年」が8%、「10~19年」が9%、「10年未満」が6%となっている。ここから、80%以上の財産管理者はある一定年数(30年)以上南部町に居住しているといえる。

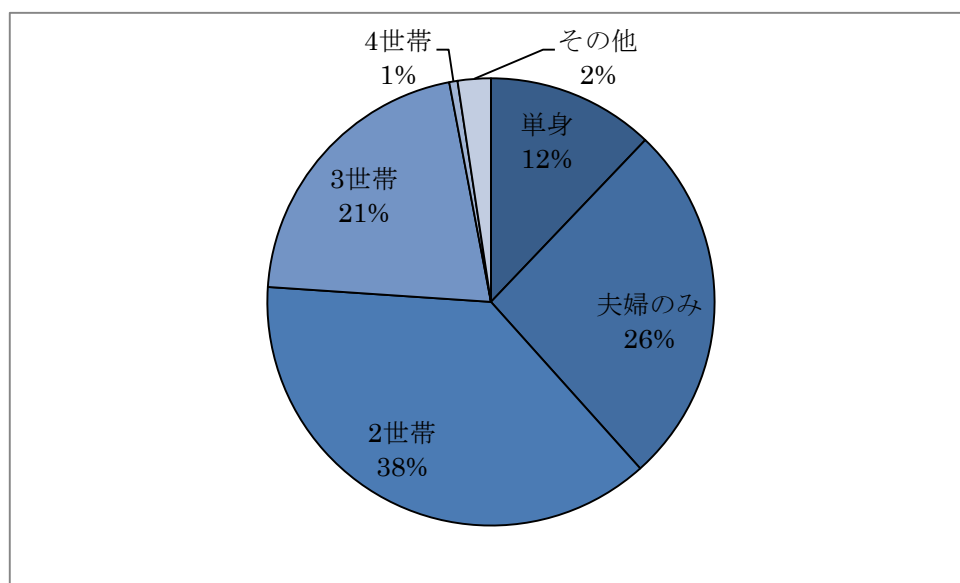
図5 職業



職業		
	度数 (人)	パーセント (%)
退職後年金暮らし	563	42.2
給与所得者	430	32.2
農林業	179	13.4
自営業	74	5.5
自由業専門職	22	1.6
その他 (主夫・主婦含む)	67	5.0
合計	1335	100.0

図5は、アンケート回答者の職業の分布を示したものである。「退職後あるいは年金暮らし」と回答した方の割合が大きく、全体の42%を占めている。他方で、「給与所得者」の割合は32%となっている。また、「農林業」は13%である。ここから、財産管理者の収入源のほとんどは年金、給与、農林業によるものである可能性が高いといえる。

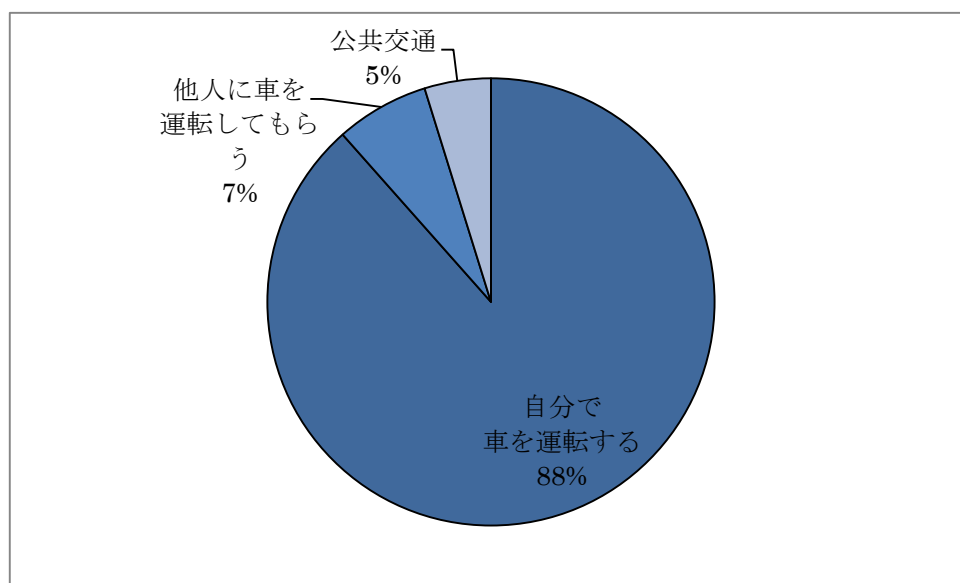
図6 家族構成



家族構成		
	度数 (人)	パーセント (%)
単身	162	12.1
夫婦のみ	351	26.3
2世帯	504	37.7
3世帯	280	20.9
4世帯	8	.6
その他	32	2.4
合計	1337	100.0

図6は、アンケート回答者の家族構成を示したものである。割合が大きいものから順に、「2世帯」が38%、「夫婦のみ」が26%、「3世帯」が21%、「単身」が12%となっている。全国の世帯種別比率（厚生労働省「平成23年度国民生活基礎調査」より）を見ると、単身世帯が25%、核家族総数（「夫婦のみ」、「夫婦と子」を含む）が60%、3世帯が8%となっている。これと比較すると、南部町の回答者は、単身者の割合が小さく、3世帯の割合が大きいといえる。

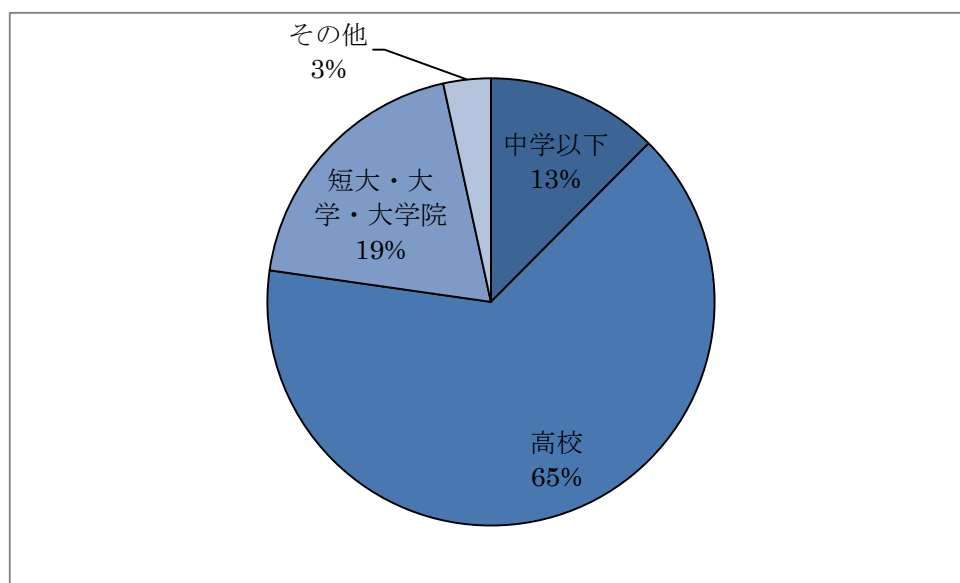
図7 交通手段



交通手段		
	度数 (人)	パーセント (%)
自分で車を運転する	1180	88.5
他人に車を運転してもらう	90	6.7
公共交通	64	4.8
合計	1334	100.0

図7は、アンケート回答者の普段の交通手段を示したものである。「自分で自家用車を運転している」方が全体の88%を占めている。また、「他人に自家用車を運転してもらう」方が7%、「公共交通」を使う方が5%である。ここから、南部町における主な交通手段は自家用車である可能性が高いことが分かる。

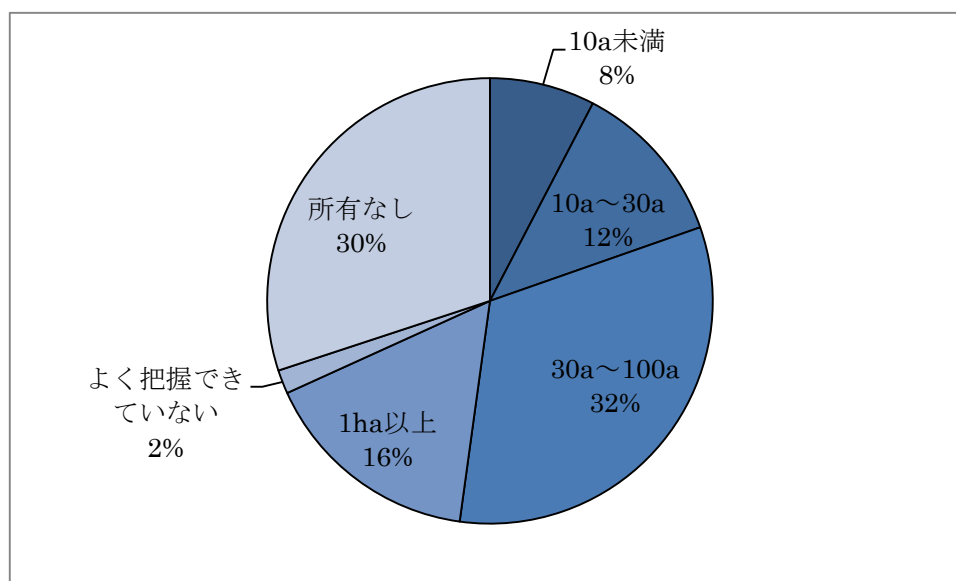
図8 教育歴



教育歴		
	度数 (人)	パーセント (%)
中学以下	167	12.5
高校	869	64.8
短大・大学・大学院	259	19.3
その他	46	3.4
合計	1341	100.0

図8は、アンケート回答者の教育歴の分布を表したものである。これを見ると、回答者の60%以上が高等学校での教育を受けていることが分かる。短大以上の教育を受けている方は、19%である。ここから、回答者の多くは高校での教育を受けた可能性があるといえる。

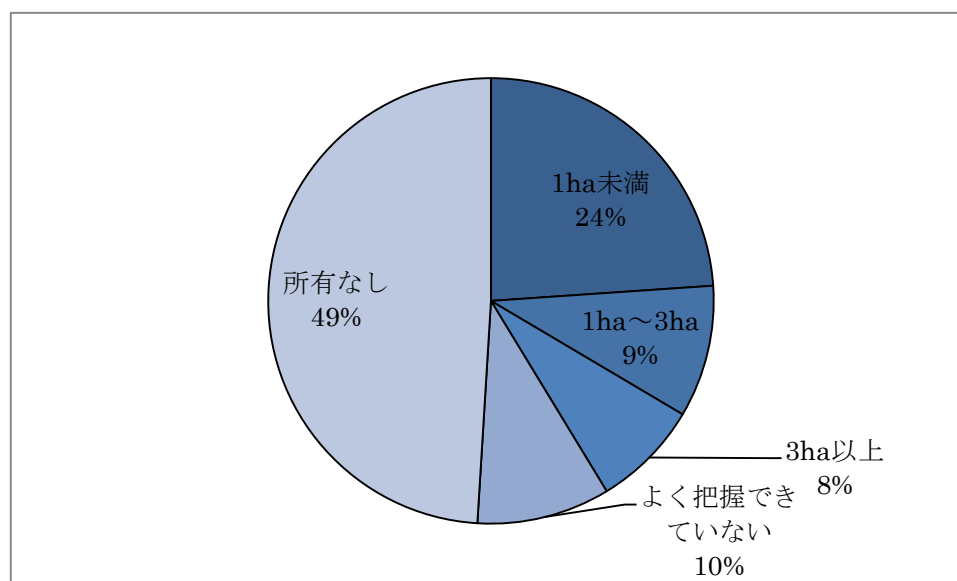
図9 農地の所有面積



農地所有		
	度数	パーセント (%)
10a未満	102	7.6
10a~30a	160	12.0
30a~100a	434	32.5
1ha~2ha	163	12.2
2ha~5ha	28	2.1
5ha以上	23	1.7
よく把握できていない	23	1.7
所有なし	401	30.1
合計	1334	100.0

図9は、農地の保有面積の分布を示したものである。回答者のうち、70%が農地を保有している。その内訳は、割合が大きいものから順に、「30a~100a」の所有が32%、「1ha以上の所有」が16%、「10a~30a」の所有が12%、「10a未満」の所有が8%である。中国地方の耕地面積ごとの農家数を見ると、1ha未満が約70%、1ha以上が約20%を占めている。（平成25年農業構造動態調査より）ここから、南部町の一農家あたりの農地保有面積は中国地方の農家の一般的な農地保有面積と変わらないといえる。

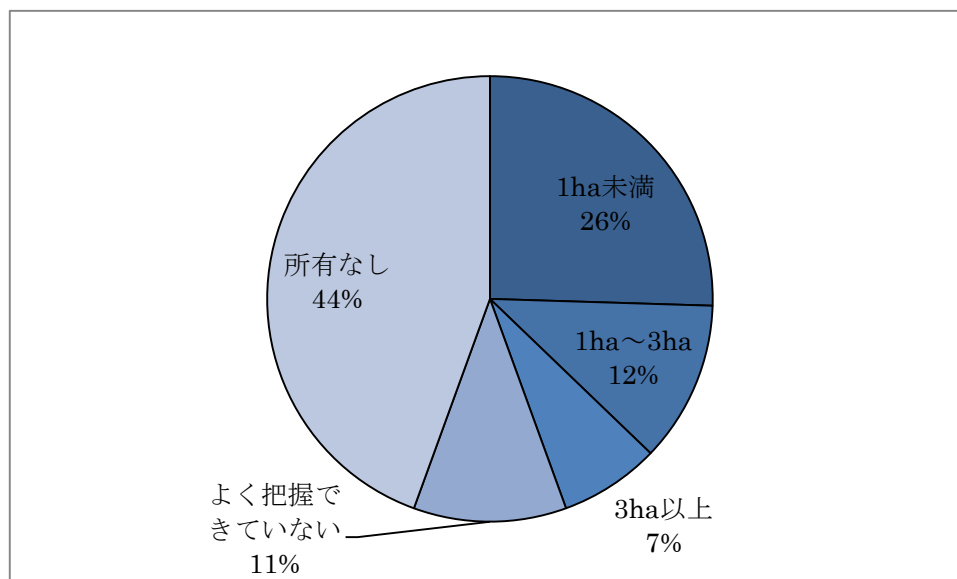
図10 人工林の所有面積



	度数	パーセント (%)
1ha未満	319	23.9
1ha～3ha	128	9.6
3ha～5ha	56	4.2
5ha～10ha	33	2.5
10ha以上	15	1.1
よく把握できていない	129	9.7
所有なし	654	49.0
合計	1334	100.0

図10は、人工林（スギ、ヒノキなど）の所有面積の分布を示したものである。回答者の49%が人工林を所有していないことが分かる。他方で、人工林を所有していると回答された方々の割合を足すと51%が人工林を所有していることが分かる。回答者のうち、「1ha未満」の所有が全体の24%を占め、最も割合が大きい。次いで「1ha～3ha」の所有が9%となっている。「3ha以上」の所有は8%である。2010年度農林業センサス（農林水産省）によると、全国の林業経営体のうち98%が3ha以上の山林を所有している。これより、南部町の場合、データからも林業が盛んではないことが分かる。

図 1 1 雑木林の所有面積

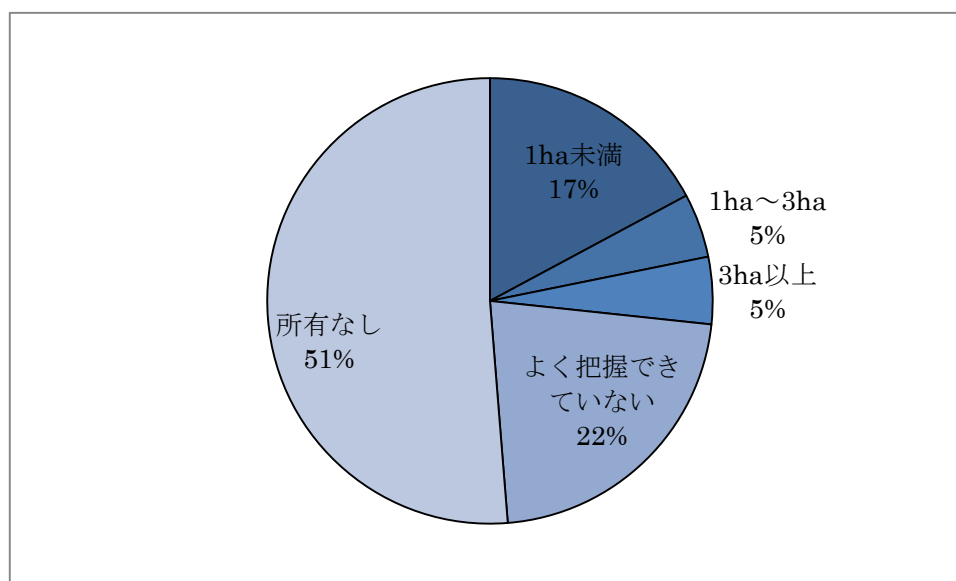


雑木林所有

	度数	パーセント (%)
1ha未満	340	25.5
1ha~3ha	156	11.7
3ha~5ha	55	4.1
5ha~10ha	30	2.2
10ha以上	12	.9
よく把握できていない	148	11.1
所有なし	593	44.5
合計	1334	100.0

図 1 1 は、雑木林の所有面積の分布を示したものである。回答者のうち 44%が雑木林を所有していないことが分かる。他方で、雑木林を所有していると回答された方々の割合を足すと 56%が雑木林を所有していることが分かる。所有面積ごとに回答の割合を見てみると、1ha 未満の所有が 26%、1ha~3ha の所有が 12%である。3ha 以上の所有は 7%である。

図 1 2 共有林の所有面積

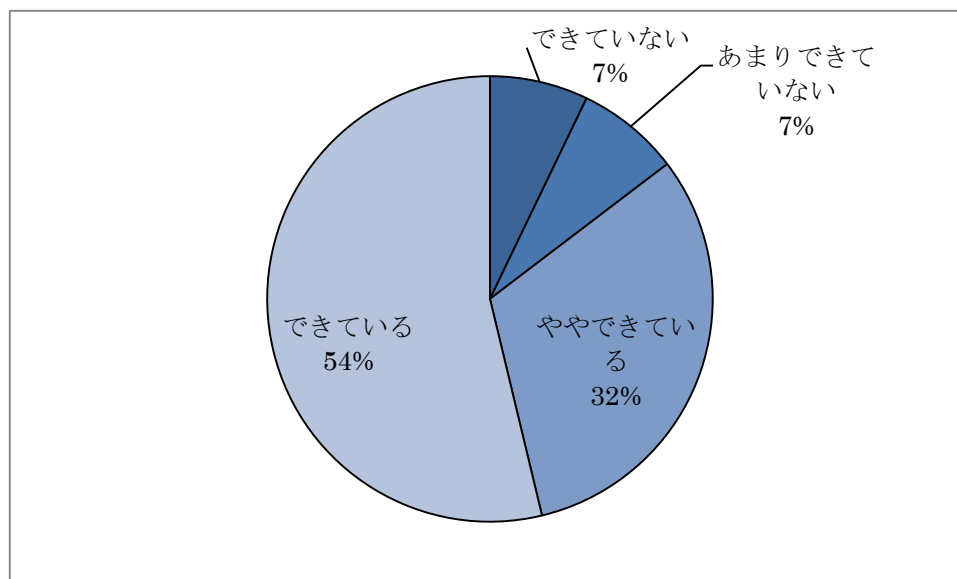


共有林所有

	度数	パーセント (%)
1ha未満	229	17.2
1ha～3ha	62	4.6
3ha～5ha	19	1.4
5ha～10ha	16	1.2
10ha以上	30	2.2
よく把握できていない	294	22.0
所有なし	684	51.3
合計	1334	100.0

図 1 2 は、共有林の所有面積の分布を示したものである。回答者のうち 51%は共有林を所有していないことが分かる。他方で、共有林を所有していると回答された方々の割合を足すと 49%が共有林を所有していることが分かる。所有面積ごとに回答の割合をしてみると、「1ha 未満」の所有が 17%、「1ha～3ha」の所有が 5%、「3ha 以上」の所有は 5%である。個人所有の山林と比較すると、所有面積を「よく把握できていない」の割合が大きいことが分かる。

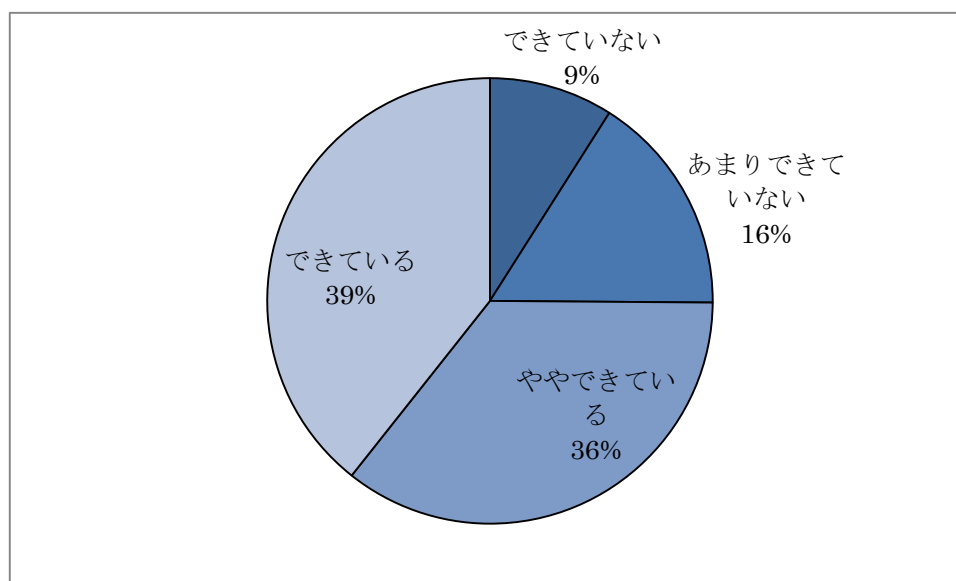
図13 田の管理



田の管理		
	度数	パーセント (%)
できていない	59	7.1
あまりできていない	62	7.5
ややできている	261	31.6
できている	444	53.8
合計	826	100.0

図13は、田を所有していると答えた方の田の管理状況を示したものである。回答者のうち、管理が「できている」と回答した割合は54%で、最も大きい。また、「できている」と「ややできている」を合わせると、86%の回答者が、田の管理ができていることになる。他方で、管理が「できていない」と「あまりできていない」を合わせると、その割合は14%である。ここから、南部町において田の管理はおおむねできていることが分かる。

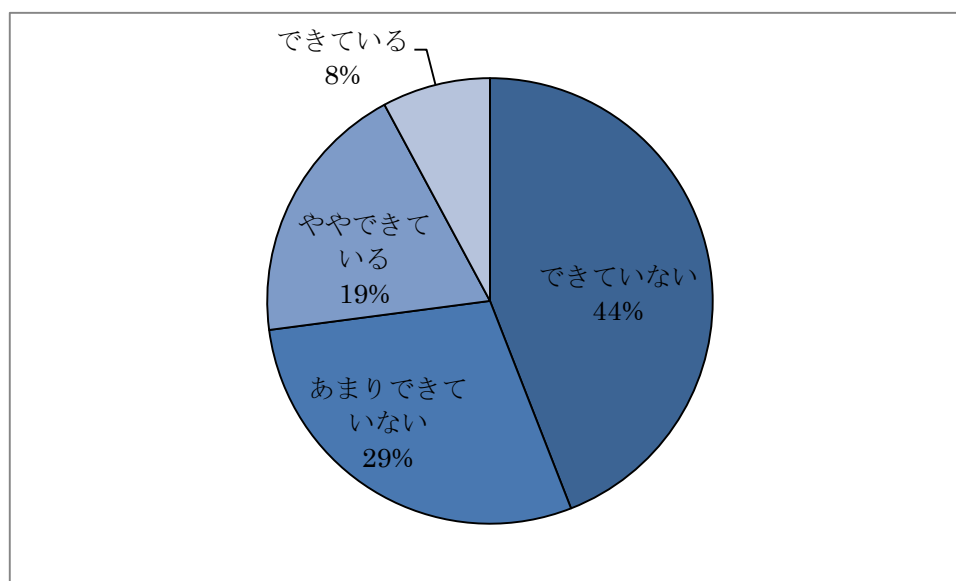
図1 4 畑の管理



	度数	パーセント (%)
できていない	76	9.0
あまりできていない	136	16.1
ややできている	300	35.5
できている	332	39.3
合計	844	100.0

図1 4は、畑を所有していると答えた方の畑の管理状況を示したものである。最も多い回答は管理が「できている」(39%)である。また、「できている」と「ややできている」を合わせると、75%の回答者が畑の管理ができていることになる。他方で、管理が「できていない」、「あまりできていない」と回答した割合は25%である。ここから、南部町において田と同様に畑もおおむね管理されていると分かる。

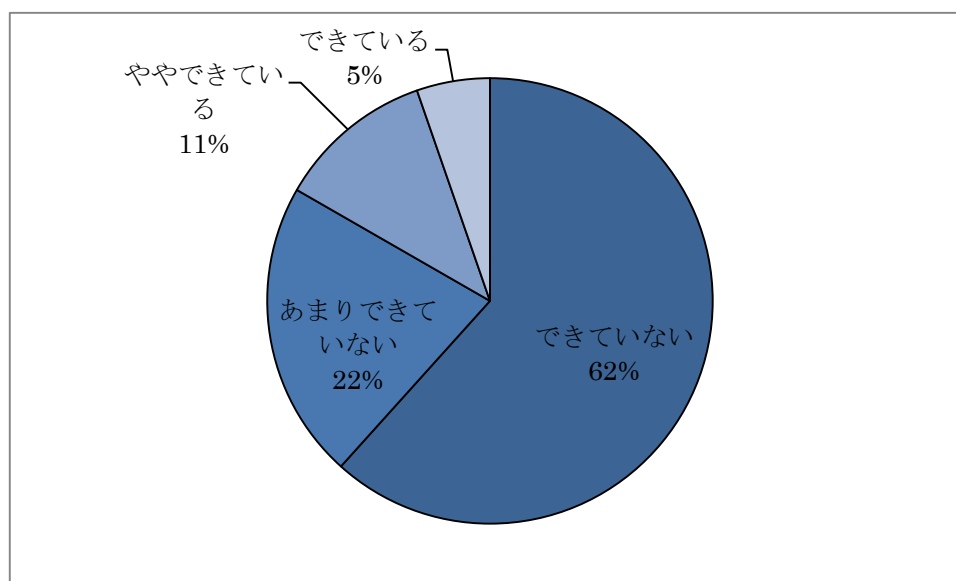
図15 人工林の管理



人工林の管理		
	度数	パーセント (%)
できていない	275	44.1
あまりできていない	180	28.8
ややできている	120	19.2
できている	49	7.9
合計	624	100.0

図15は、スギ、ヒノキなどの人工林を所有していると答えた方の人工林の管理状況を示したものである。最も多い回答は、管理が「できていない」(44%)である。また、「できていない」と「あまりできていない」を合わせると、73%の回答者は人工林を管理できていないことになる。他方で、管理が「できている」、「ややできている」と回答した割合は27%である。ここから、南部町の人工林は管理されていない可能性がある。

図16 共有林の管理

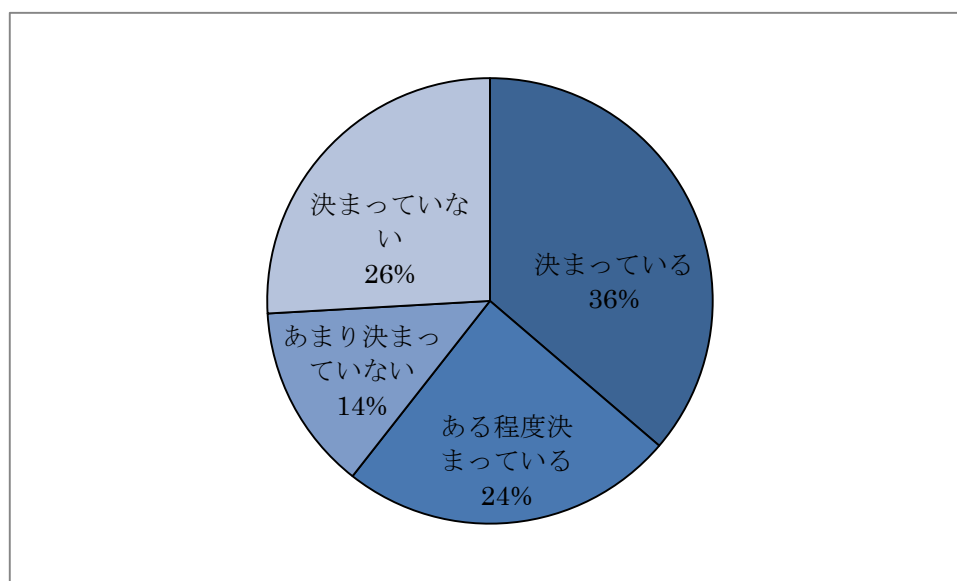


共有林の管理

	度数	パーセント (%)
できていない	325	61.7
あまりできていない	114	21.6
ややできている	60	11.4
できている	28	5.3
合計	527	100.0

図16は、共有林を所有していると回答した方の共有林の管理状況を示したものである。最も多い回答は管理が「できていない」(62%)である。また、「できていない」と「あまりできていない」を合わせると84%の回答者が共有林を管理できていないことになる。他方で、管理が「できている」、「ややできている」と回答した割合は16%である。ここから、南部町において人工林と同様に共有林の管理もされていない可能性があるといえる。

図17 農地の継承

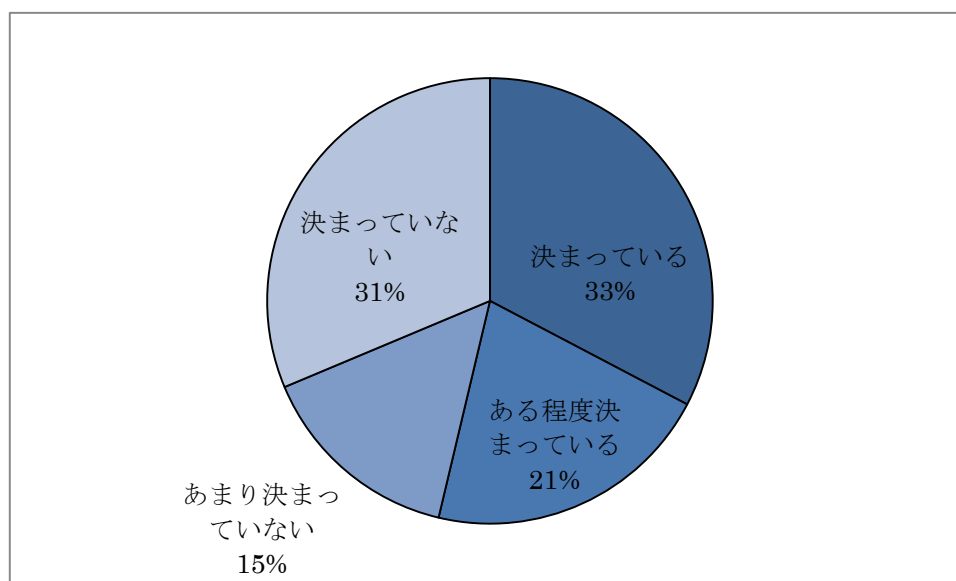


農地継承

	度数	パーセント (%)
決まっている	322	36.3
ある程度決まっている	216	24.3
あまり決まっていない	120	13.5
決まっていない	230	25.9
合計	888	100.0

図17は農地の継承者が決まっているかどうかをお伺いしたものである。最も多い回答は、農地の継承者が「決まっている」(36%)である。「決まっている」と「ある程度決まっている」を合わせると、60%の回答者は継承者が決まっていることになる。他方で、「決まっていない」、「あまり決まっていない」を足すと40%の回答者はまだ継承者を決めていないことが分かる。

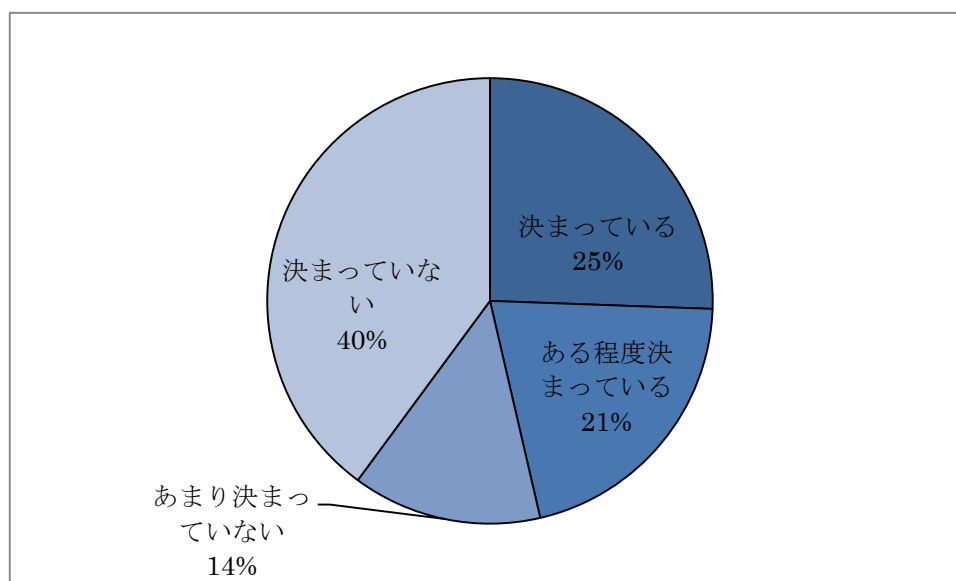
図18 山林の継承



山林継承		
	度数	パーセント (%)
決まっている	238	32.7
ある程度決まっている	153	21.0
あまり決まっていない	109	15.0
決まっていない	228	31.3
合計	728	100.0

図18は山林（人工林、雑木林含む）の継承者が決まっているかどうかをお伺いしたものである。最も多い回答は、山林の継承者が「決まっている」（33%）である。「決まっている」と「ある程度決まっている」を合わせると、その割合は54%となる。他方で、「決まっていない」、「あまり決まっていない」を合わせると46%の回答者はまだ山林の継承者を決めていないことが分かる。

図19 共有林の継承

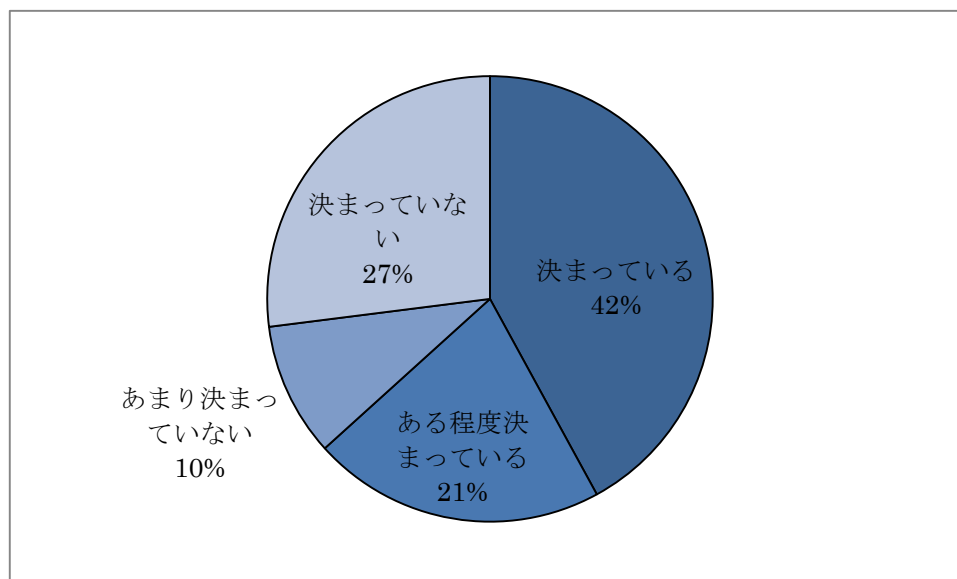


共有林継承

	度数	パーセント (%)
決まっている	134	25.6
ある程度決まっている	109	20.8
あまり決まっていない	72	13.7
決まっていない	209	39.9
合計	524	100.0

図19は共有林の継承者が決まっているかどうかをお伺いしたものである。最も多い回答は、共有林の継承者が「決まっていない」(40%)である。「決まっていない」と「あまり決まっていない」を合わせると、その割合は54%となる。他方で、「決まっている」、「ある程度決まっている」と答えた割合は46%である。ここから、半数以上の回答者は、まだ共有林の継承者を決めていないことが分かる。

図20 家屋の継承

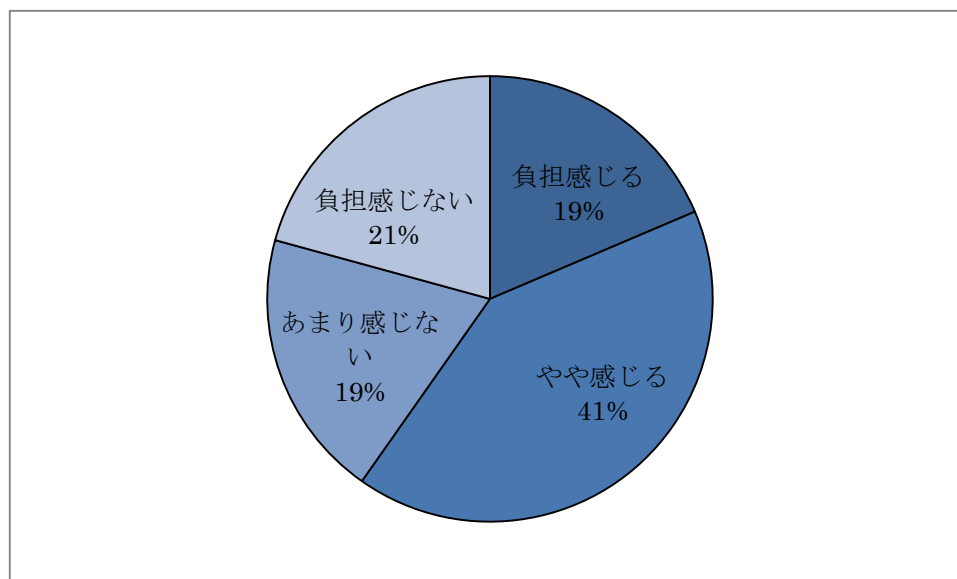


家屋継承

	度数	パーセント (%)
決まっている	520	42.0
ある程度決まっている	263	21.3
あまり決まっていない	120	9.7
決まっていない	334	27.0
合計	1237	100.0

図20は家屋の継承者が決まっているかどうかをお伺いしたものである。最も多い回答は、家屋の継承者が「決まっている」(42%)である。「決まっている」と「ある程度決まっている」を合わせると、その割合は63%となる。他方で、「決まっていない」、「あまり決まっていない」と回答した割合は37%である。ここから、4割に近い家屋の継承者が決まっていない。

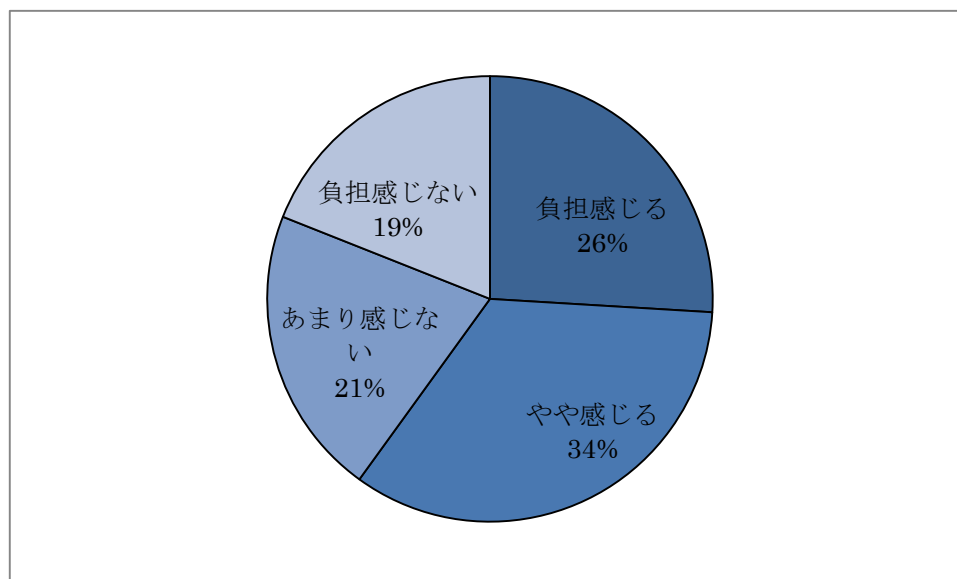
図 2 1 農地に対する金銭的・精神的負担感



農地負担		
	度数	パーセント (%)
負担感じる	164	18.6
やや感じる	363	41.2
あまり感じない	172	19.5
負担感じない	183	20.7
合計	882	100.0

図 2 1 は、農地を管理することに対して金銭的、精神的な負担を感じている方の割合を示したものである。最も多い回答は、負担を「やや感じる」(41%) である。負担を「感じる」と「やや感じる」とを合わせると、その割合は 60%となる。他方で、負担を「感じない」、「あまり感じない」と回答した割合は 40%である。ここから、40%の回答者が農地の管理に負担を感じていない一方で、60%の回答者は農地の管理に負担を感じていることが分かる。

図 2 2 山林に対する金銭的・精神的負担感

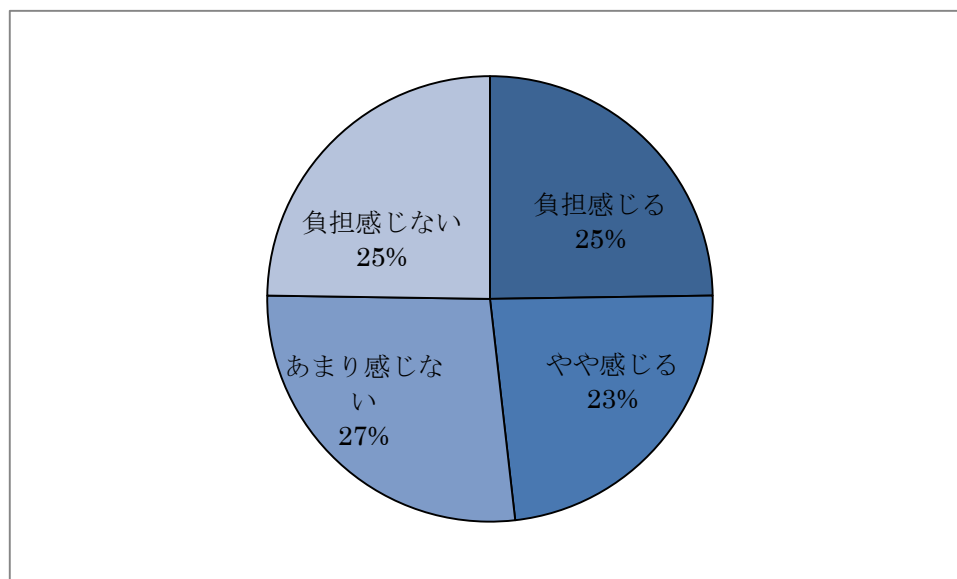


山林負担

	度数	パーセント (%)
負担感じる	190	26.0
やや感じる	249	34.0
あまり感じない	154	21.0
負担感じない	139	19.0
合計	732	100.0

図 2 2 は、山林を管理することに対して金銭的、精神的な負担を感じている人の割合を示したものである。最も多い回答は、負担を「やや感じる」(34%) である。負担を「感じる」と「やや感じる」を合わせると、その割合は 60%となる。他方で、負担を「感じない」、「あまり感じない」と回答した割合は 40%である。ここから、40%の回答者が山林の管理に負担を感じていない一方で、60%の回答者は山林の管理に負担を感じていることが分かる。

図 2 3 共有林に対する金銭的・精神的負担感

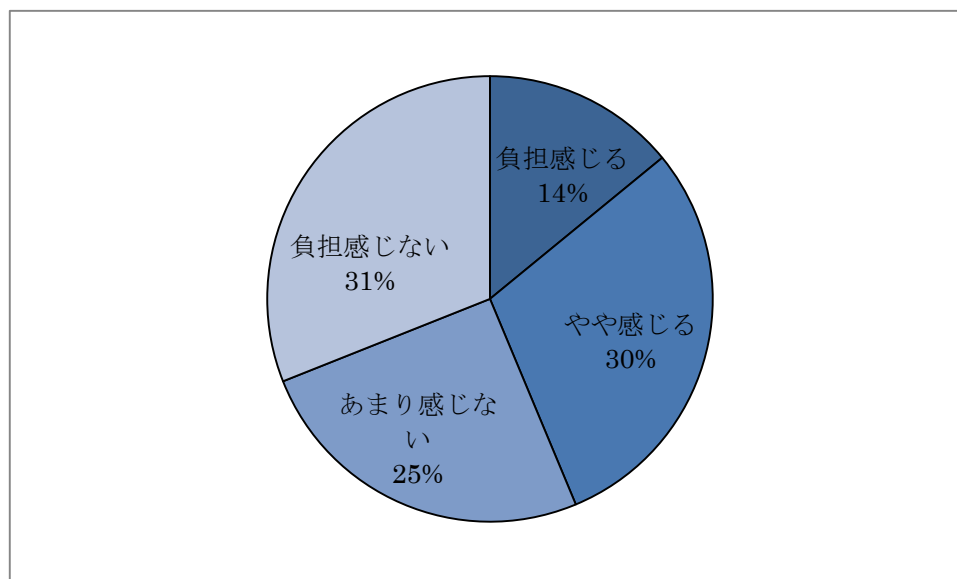


共有林負担

	度数	パーセント (%)
負担感じる	130	24.8
やや感じる	123	23.4
あまり感じない	142	27.0
負担感じない	130	24.8
合計	525	100.0

図 2 3 は、共有林を管理することに対して金銭的、精神的な負担を感じている人の割合を示したものである。最も多い回答は、負担を「あまり感じない」(27%) である。負担を「感じない」と「あまり感じない」を合わせるとその割合は 52% となる。他方で、負担を「感じる」、「やや感じる」と回答した割合は 48% である。ここから、約半数の回答者は、共有林を管理することに対して特に負担を感じていない一方で、残りの半数は共有林の管理を負担に感じていることが分かる。

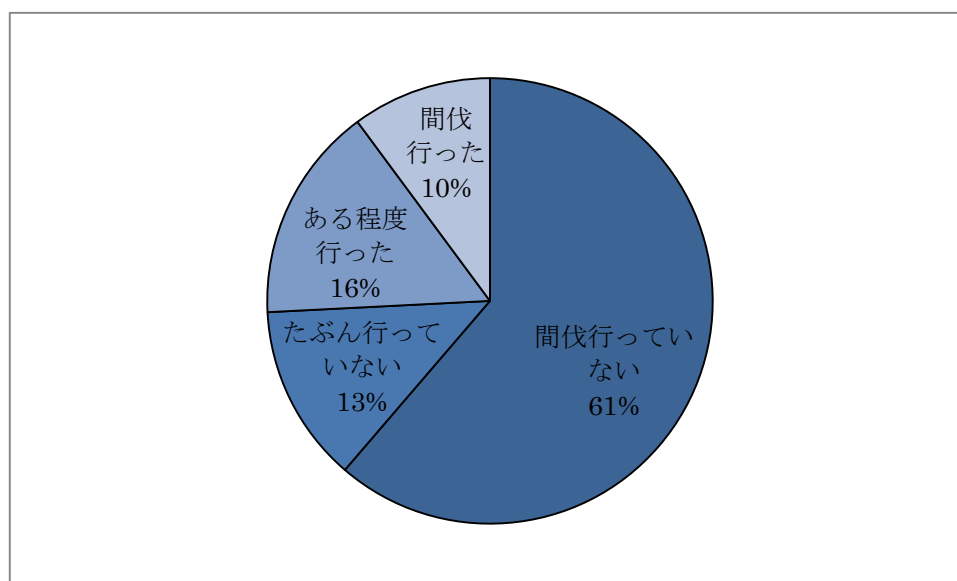
図 2 4 家屋に対する金銭的・精神的負担感



家屋負担		
	度数	パーセント (%)
負担感じる	171	14.1
やや感じる	360	29.6
あまり感じない	307	25.3
負担感じない	377	31.0
合計	1215	100.0

図 2 4 は、家屋を管理することに対して金銭的、精神的な負担を感じている人の割合を示したものである。最も多い回答は、負担を「感じない」(31%) である。負担を「感じない」と「あまり感じない」を合わせると、その割合は 56% となる。他方で、負担を「感じる」、「やや感じる」と回答した割合は 44% である。ここから、半数以上の回答者が家屋の管理に負担を感じていない一方で、約 44% の回答者が家屋の管理に負担を感じていることが分かる。

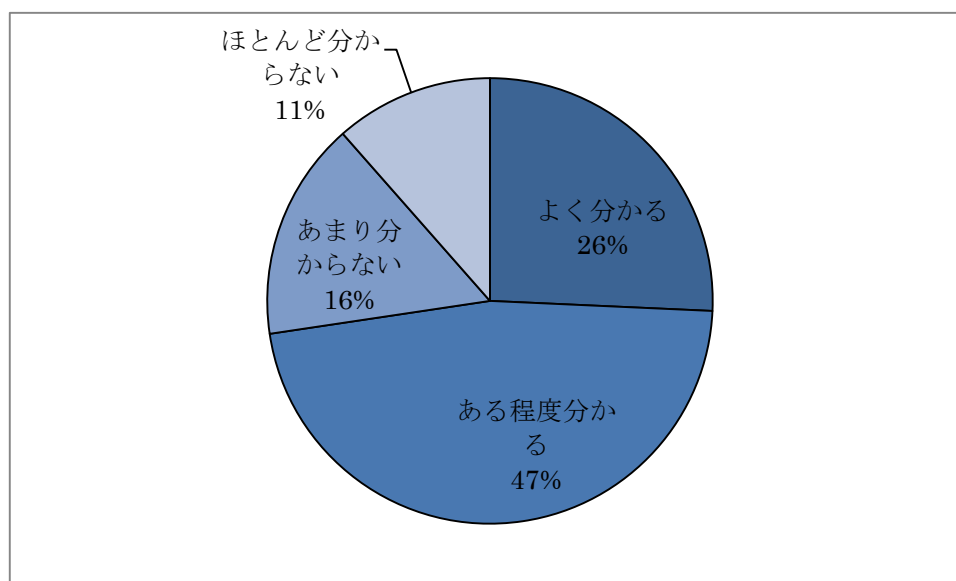
図 2 5 人工林の間伐



間伐		
	度数	パーセント (%)
間伐行っていない	399	61.3
たぶん行っていない	84	12.9
ある程度行った	102	15.7
間伐行った	66	10.1
合計	651	100.0

図 2 5 は、山林（私有人工林と共有林）の所有者のうち、この 10 年以内に間伐を行った方の割合を示している。最も多い回答は、間伐を「行っていない」（61%）である。間伐を「行っていない」と「たぶん行っていない」を合わせると、74%の回答者はこの 10 年間に間伐を行っていない。他方で、間伐を「行った」、「ある程度行った」と回答した割合は 26% である。ここから、南部町の人工林の所有者は、間伐を十分に行えていない可能性があるといえる。

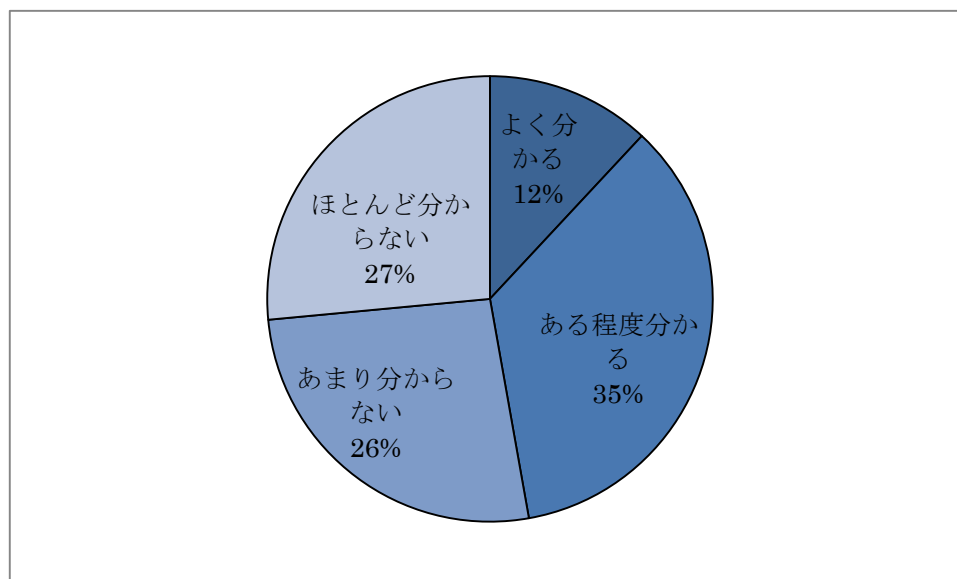
図 2 6 山林の場所



山林場所		
	度数	パーセント (%)
よく分かる	188	25.7
ある程度分かる	343	46.9
あまり分からない	116	15.9
ほとんど分からない	84	11.5
合計	731	100.0

図 2 6 は、山林の所有者に自身の所有している山林の場所を知っているかどうかをお伺いしたものである。最も多い回答は、場所が「ある程度分かる」(47%)である。「よく分かる」、「ある程度よく分かる」を合わせると、その割合は 73%となる。他方で、場所が「ほとんど分からない」、「あまり分からない」と回答した割合は 27%である。ここから、南部町の山林の所有者は、おおむね自身が所有している山林の場所を把握していると考えられる。

図 2 7 共有林の場所

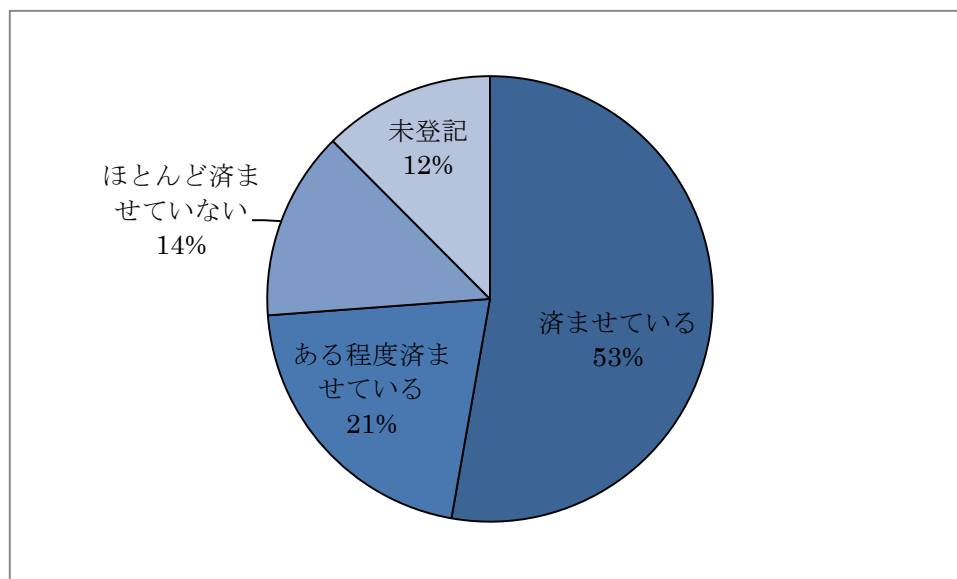


共有林場所

	度数	パーセント (%)
よく分かる	64	11.9
ある程度分かる	189	35.3
あまり分からない	141	26.3
ほとんど分からない	142	26.5
合計	536	100.0

図 2 7 は、共有林の所有者に自身の所有する共有林の場所を知っているかどうかをお伺いしたものである。最も多い回答は、場所が「ある程度分かる」(35%) である。「よく分かる」、「ある程度よく分かる」を合わせると、その割合は 47% となる。他方で、場所が「ほとんど分からない」、「あまり分からない」と回答した割合は 53% である。ここから、約半数の回答者が自身の所有する共有林の場所を把握している一方で、もう半数の回答者は自身の所有する共有林の場所を把握していないと考えられる。

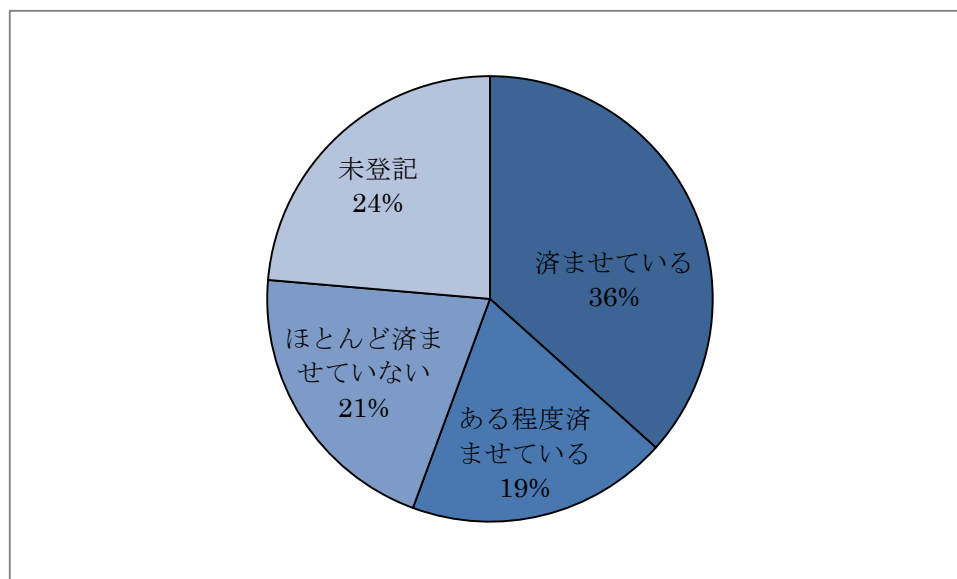
図 2 8 山林の登記状況



山林登記		
	度数	パーセント (%)
済ませている	381	52.8
ある程度済ませている	152	21.1
ほとんど済ませしていない	99	13.7
未登記	90	12.5
合計	722	100.0

図 2 8 は、山林の所有者の山林の登記状況を示したグラフである。最も多い回答は、登記を「済ませている」(53%) である。登記を「済ませている」と「ある程度済ませている」を合わせると、その割合は 74% となる。他方で、登記を「済ませしていない」、「ほとんど済ませしていない」と回答した割合は 26% である。ここから、山林の所有者は、おおむね登記を済ませていることが分かる。

図 2 9 共有林の登記状況

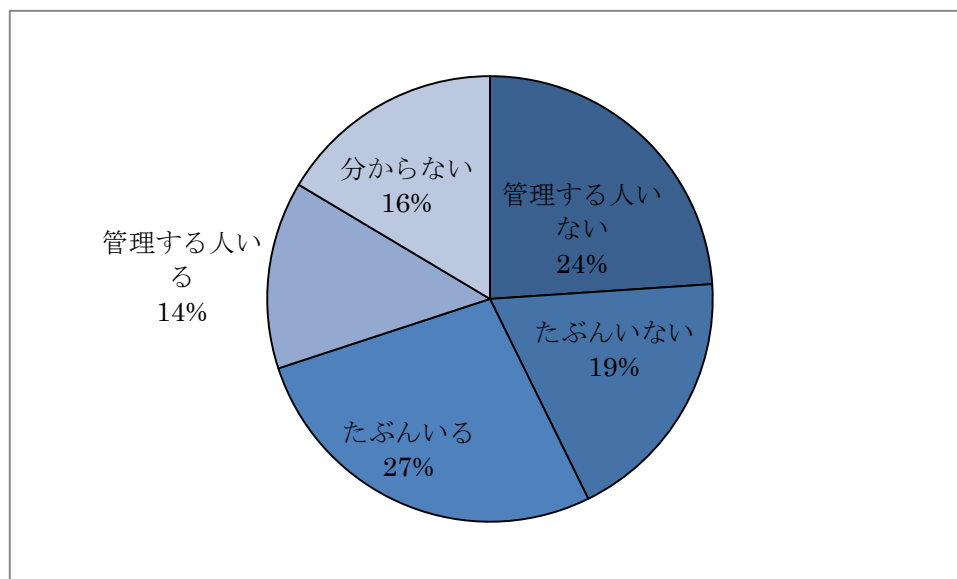


共有林登記

	度数	パーセント (%)
済ませている	189	36.6
ある程度済ませている	98	19.0
ほとんど済ませている	107	20.7
未登記	122	23.6
合計	516	100.0

図 2 9 は、共有林の所有者の共有林の登記状況を示したグラフである。最も多い回答は、登記を「済ませている」(36%) である。登記を「済ませている」と「ある程度済ませている」を合わせると、その割合は 55%となる。他方で、登記を「済ませている」「ほとんど済ませている」と回答した割合は 45%である。ここから、共有林の所有者の多くが登記を済ませている方がいる一方で、登記を済ませている方が多くいる可能性があるといえる。

図30 共有林の次期代表者

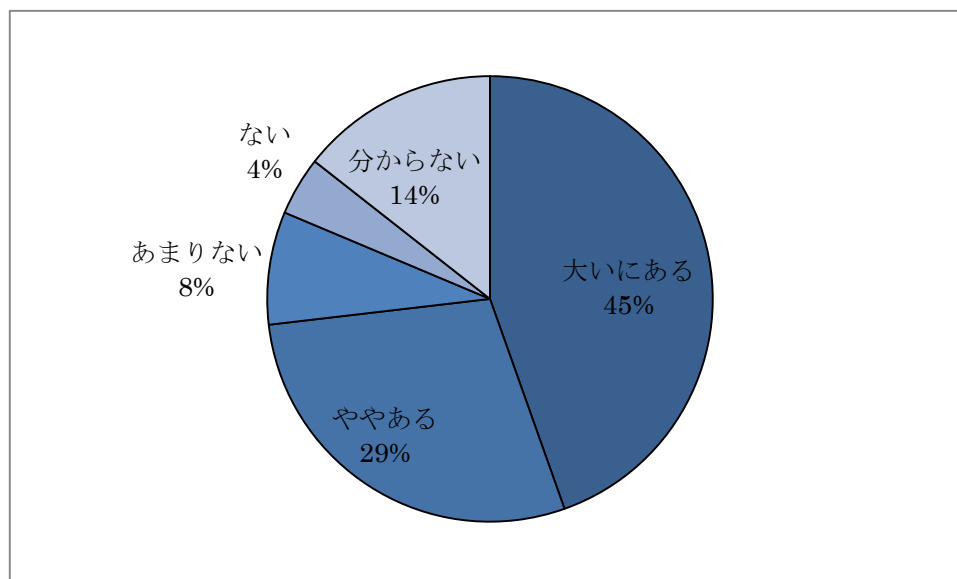


共有林次期代表者

	度数	パーセント (%)
管理する人いない	51	23.9
たぶんいない	40	18.8
たぶんいる	58	27.2
管理する人いる	29	13.6
分からない	35	16.4
合計	213	100.0

図30は、代表者として共有林の管理されている方に次の代表者がいるかどうかをお伺いしたものである。最も多い回答は、次期代表者が「たぶんいる」(27%)である。「次期管理人がいる」と「たぶんいる」を合わせると、その割合は41%となる。他方で、「次期管理人がいない」と「たぶんいない」を合わせると、43%の回答者には共有林の代表を引き継ぐ方がいないことが分かる。

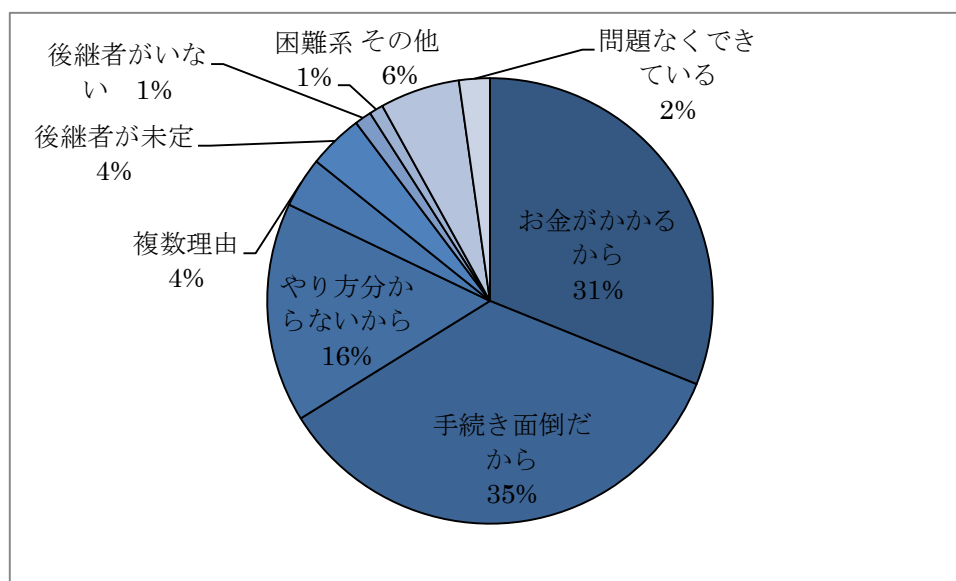
図3 1 今後も財産管理を続けていく意思の有無



財産管理		
	度数	パーセント (%)
大いにある	566	44.6
ややある	363	28.6
あまりない	104	8.2
ない	54	4.3
分からない	183	14.4
合計	1270	100.0

図3 1は、自身の所有している財産（土地、家屋など）を今後も管理していく意思があるかどうかをお伺いしたものである。最も多い回答は、今後も財産管理を行っていく気が「大いにある」（45%）である。「大いにある」と「ややある」を合わせると、その割合は74%となる。他方で、「ない」、「あまりない」と回答した割合は12%である。ここから、ほとんどの回答者は、今後も財産管理を行っていくつもりであることが分かる。

図 3 2 財産管理が難しい理由

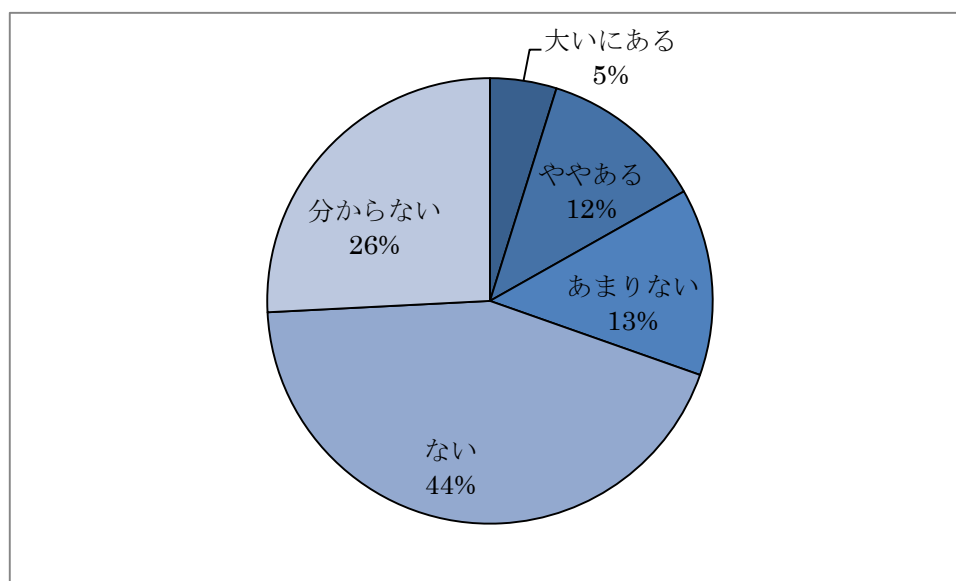


財産管理・理由

	度数	パーセント (%)
手続き面倒だから	345	35.1
お金がかかるから	306	31.1
やり方分からないから	157	16.0
複数理由	36	3.7
後継者が未定	39	4.0
後継者がいない	12	1.2
困難系	10	1.0
その他	57	5.8
問題ないできている	22	2.2
合計	984	100.0

図 3 2 は、財産を管理することを難しくさせている理由を示したものである。回答者のうち、「手続きが面倒だから」と回答した方が最も多く、その割合は 35%であった。次いで、「お金がかかるから」は 31%、「やり方が分からないから」は 16%である。ここから、町民の方々が財産管理を行っていくうえで、複雑な手続きや、費用が大きな負担となっている可能性があるといえる。

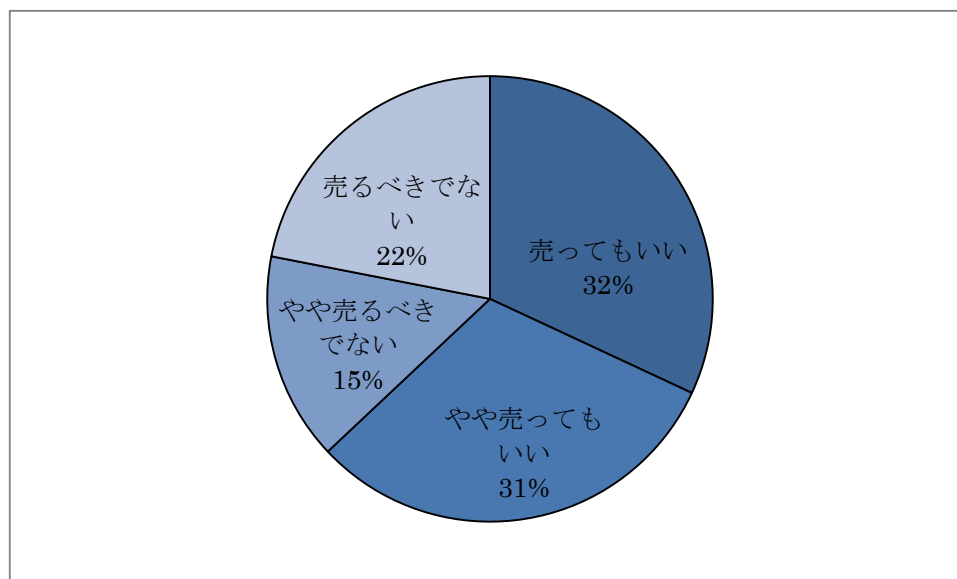
図 3 3 公共機関への土地財産の寄付希望の有無



財産寄付		
	度数	パーセント (%)
大いにある	58	4.8
ややある	144	12.0
あまりない	163	13.6
ない	526	43.8
分らない	310	25.8
合計	1201	100.0

図 3 3 は、町などの公的機関に土地などの財産を寄付したいという希望があるかどうかを示したものである。最も多い回答は、財産の寄付希望が「ない」(44%)である。寄付希望が「ない」と「あまりない」を合わせると、57%の回答者は、今後も自身の手で財産管理を続けていく。あるいは、財産を売却することを考えている可能性がある。他方で、「大いにある」と「ややある」を合わせると、17%の回答者は公的機関に財産を寄付したいという希望を持っていることが分かる。

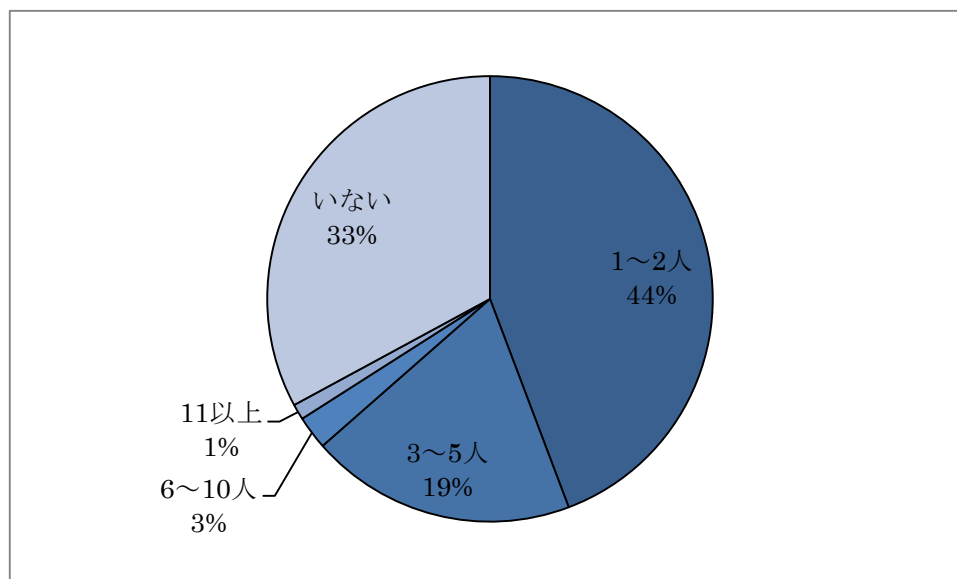
図3 4 財産に対する価値観



価値観		
	度数	パーセント (%)
売ってもいい	396	31.9
やや売ってもいい	385	31.0
やや売るべきでない	187	15.1
売るべきでない	272	21.9
合計	1240	100.0

図3 4は、土地の所有者が財産に対して、どのような考え方をしているのかを示したグラフである。最も多い回答は、「財産なのだから、売ってもよい」(32%)である。「売ってもよい」と「やや売ってもよい」を合わせると、その割合は63%となる。他方で、「先祖伝来のものだから、自分の代で売るべきでない」、「やや売るべきでない」と回答した割合は37%であった。ここから、土地財産を売買可能な財とみなしている回答者が多くいる一方で、代々受け継ぎ守っていくものとみなしている回答者も一定数いることが分かる。

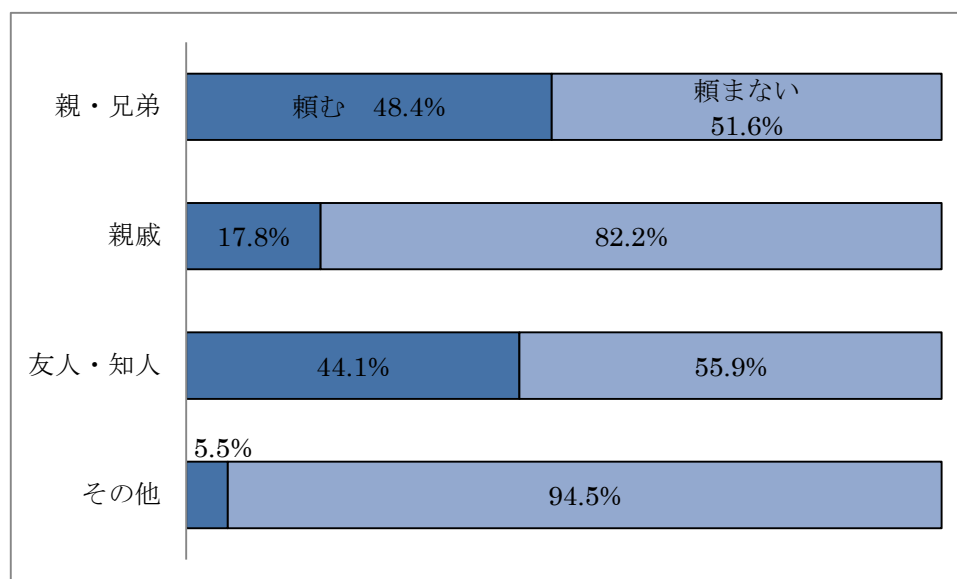
図 3 5 お手伝いを頼める相手の数 (町内在住者)



町内依頼		
	度数	パーセント (%)
1~2人	546	44.2
3~5人	238	19.3
6~10人	30	2.4
11以上	14	1.1
いない	406	32.9
合計	1234	100.0

図 3 5 は、頼みごとをできる人物が町内に何人いるかをお伺いしたものである。最も多い回答は、頼みごとをできる人物が「1人から2人いる」(44%)である。「1人から2人いる」、「3人から5人いる」、「6人から10人いる」、「11人以上」を合わせると、67%の回答者には町内に頼みごとをできる人物がいることが分かる。一方で、頼みごとをできる人物が「いない」と回答した方は、33%であった。

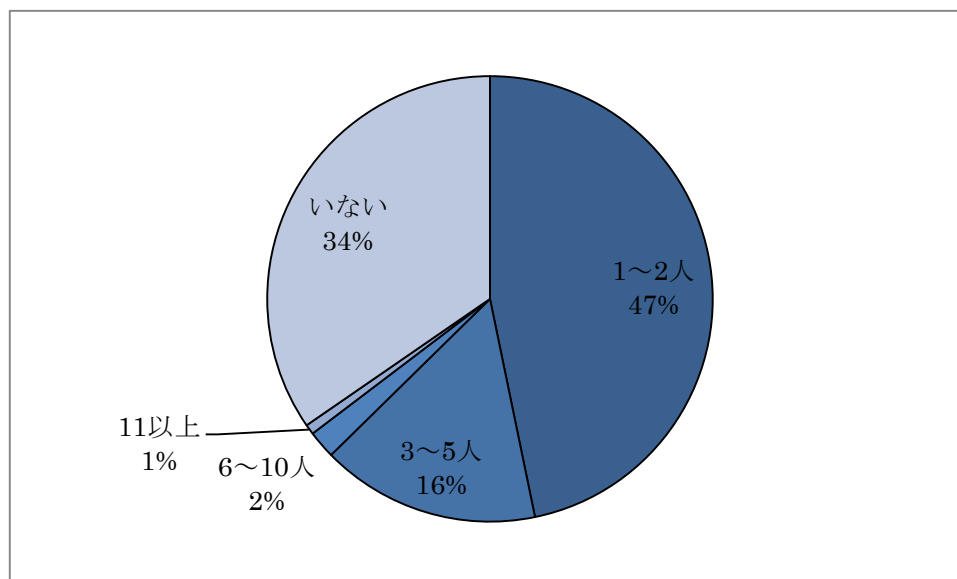
図 3 6 依頼する人との関係（町内在住者）



依頼相手の種類(町内)			頼む	頼まない
親・兄弟	度数		398	425
	パーセント(%)		48.4	51.6
親戚	度数		146	676
	パーセント(%)		17.8	82.2
友人・知人	度数		363	460
	パーセント(%)		44.1	55.9
その他	度数		45	778
	パーセント(%)		5.5	94.5

図 3 6 は、図 3 5 で町内に頼みごとができる人物がいると回答した方は、回答者自身とどのような関係にあたる方に頼みごとをしているのかを示したものである。頼みごとをする相手として選ばれることが最も多いのは「親・兄弟」(48%) である。次いで、「友人・知人」に頼みごとをすると回答した割合は 44% である。ここから、回答者は、町内の方に何か頼みごとをする場合は、親や兄弟、あるいは友人・知人を頼っていることが分かる。

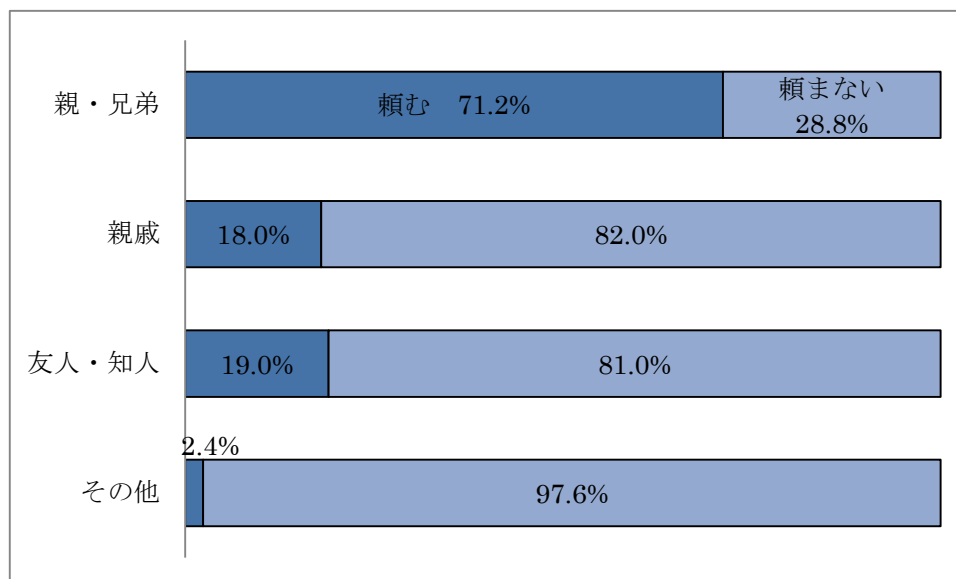
図 3 7 お手伝いを頼める相手の数 (町外在住者)



町外依頼		
	度数	パーセント (%)
1~2人	577	46.8
3~5人	196	15.9
6~10人	25	2.0
11以上	9	.7
いない	427	34.6
合計	1234	100.0

図 3 7 は、頼みごとをできる人物が町外に何人いるかをお伺いしたものである。最も多い回答は、頼みごとをできる人物が「1人から2人いる」(47%)である。「1人から2人いる」、「3人から5人いる」、「6人から10人いる」、「11人以上」を合わせると、66%の回答者には町外に頼みごとをできる人物がいることが分かる。一方で、「いない」と回答した方は、34%であった。

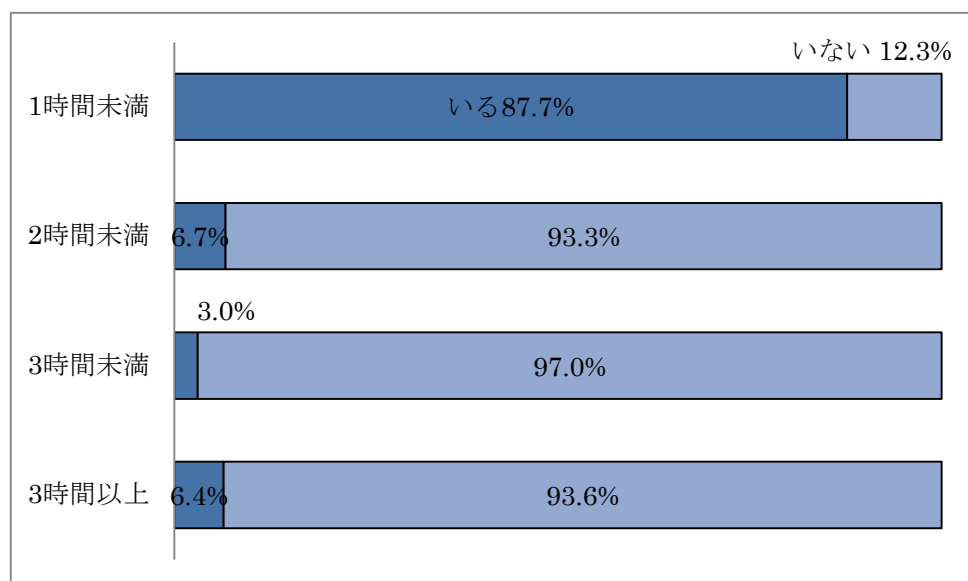
図 3 8 依頼する人との関係（町外在住者）



依頼相手の種類(町外)			
		頼む	
		頼まない	
親・兄弟	度数	570	231
	パーセント(%)	71.2	28.8
親戚	度数	144	656
	パーセント(%)	18.0	82.0
友人・知人	度数	152	649
	パーセント(%)	19.0	81.0
その他	度数	19	782
	パーセント(%)	2.4	97.6

図 3 8 は、図 3 7 で町外に頼みごとができる人物がいると回答した方は、回答者自身とどのような関係にあたる方に頼みごとをしているのかを示したものである。頼みごとをする相手として選ばれることが最も多いのは「親・兄弟」(71%) である。次いで、「友人・知人」に頼みごとをすると回答した割合は 19%であった。ここから、回答者は、町外の方に何か頼みごとをする場合は、主に親や兄弟を頼っていることが分かる。

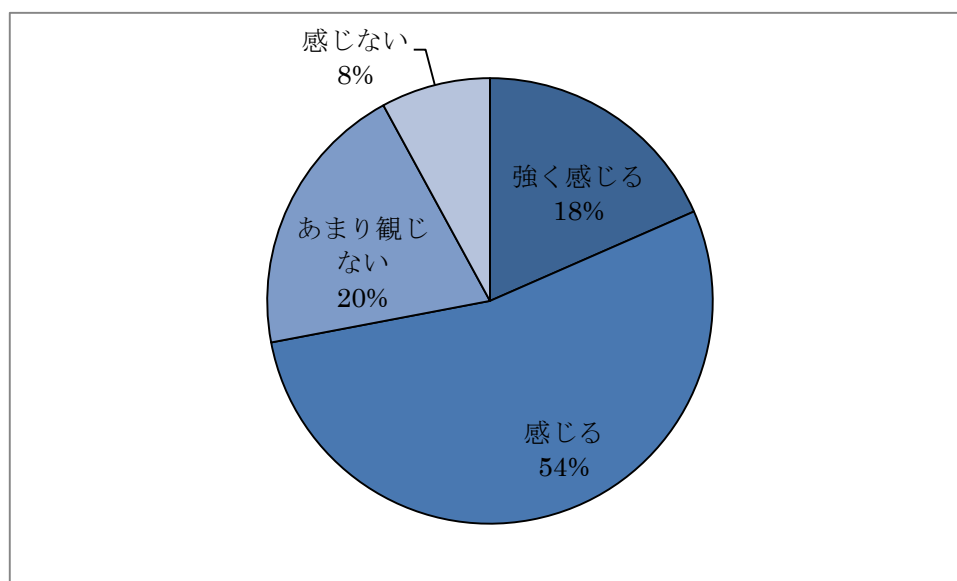
図 3 9 町外の依頼相手との時間的距離



依頼相手との距離(町外)			
		いる	
		いない	
1時間未満	度数	697	98
	パーセント(%)	87.7	12.3
2時間未満	度数	53	742
	パーセント(%)	6.7	93.3
3時間未満	度数	24	771
	パーセント(%)	3.0	97.0
3時間以上	度数	51	744
	パーセント(%)	6.4	93.6

図 3 9 は、図 3 7 で町外に頼みごとができる人物がいると回答した方に、頼みごとができる人物は、南部町から車でどのくらいかかるところにいるのかをお伺いしたものである。回答者のうち、頼みごとができる人物が車で「1 時間未満」のところにいると回答した割合は 88% で、最も大きい。「2 時間未満」は 7%、「3 時間未満」は 3%、「3 時間以上」は 6%であった。ここから、回答者には、町外の南部町に近い地域に、頼みごとをできる人物がいることが分かる。

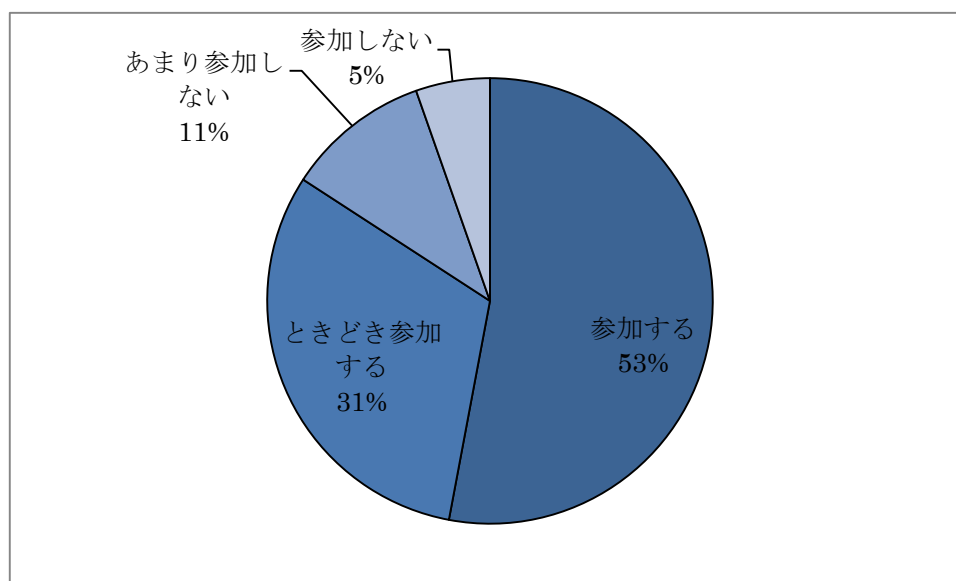
図 4 0 南部町に対する愛着・義務感



愛着・義務感		
	度数	パーセント (%)
強く感じる	239	18.4
感じる	695	53.6
あまり感じない	260	20.0
感じない	103	7.9
合計	1297	100.0

図 4 0 は、回答者に、南部町に対して愛着や義務感を感じているかどうかをお伺いしたものである。最も多い回答は、愛着や義務感を「感じる」(54%) である。「強く感じる」と「感じる」と合わせると 72%の回答者が南部町に対して、愛着、あるいは義務感を感じていることが分かる。

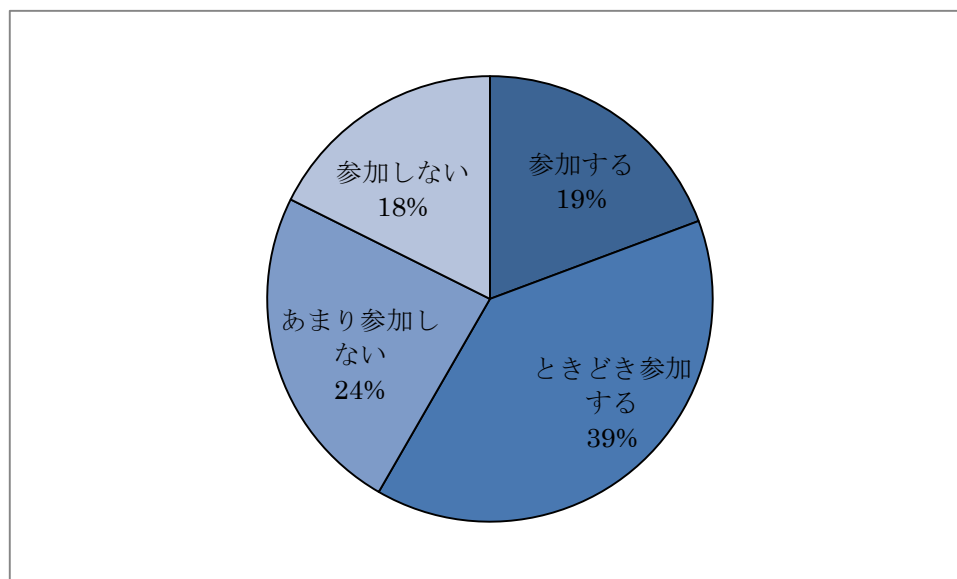
図 4 1 自治会活動への参加



自治会活動		
	度数	パーセント (%)
参加する	699	53.0
ときどき参加する	412	31.2
あまり参加しない	138	10.5
参加しない	71	5.4
合計	1320	100.0

図 4 1 は、回答者の自治会活動への参加率を示したものである。最も多い回答は、自治会活動に「参加する」(53%)である。「参加する」、「ときどき参加する」を合わせると、84%の回答者が自治会活動に参加していることが分かる。他方で、「参加しない」、「あまり参加しない」と回答した割合は、わずか16%であった。ここから、南部町では、住民の方々が自治会活動に積極的に参加されていると考えられる。

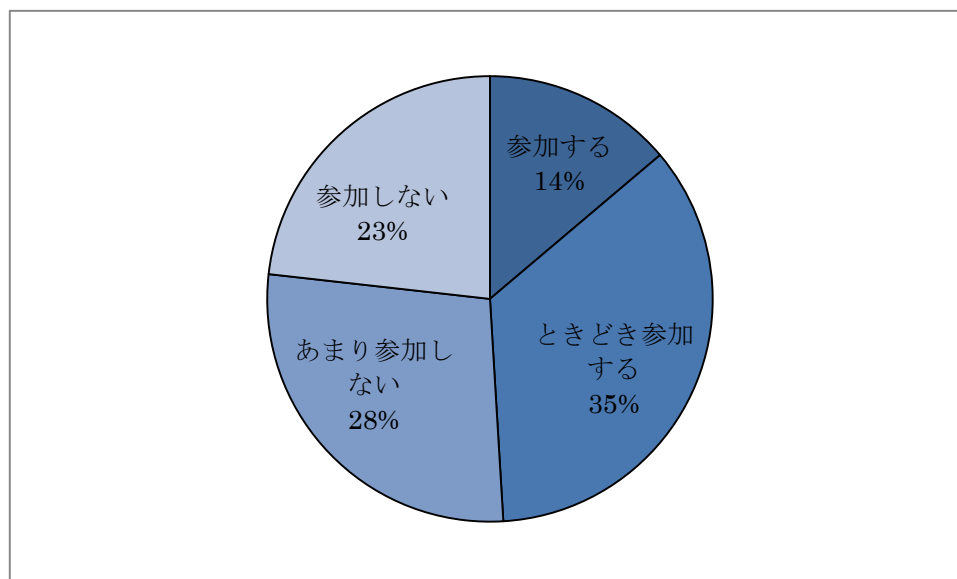
図 4 2 サークル活動への参加



サークル		
	度数	パーセント (%)
参加する	253	19.3
ときどき参加する	511	39.0
あまり参加しない	315	24.0
参加しない	231	17.6
合計	1310	100.0

図 4 2 は、回答者のサークル活動（スポーツ、趣味、文化など）への参加率を示したものである。最も多い回答は、サークル活動に「ときどき参加する」（39%）である。「参加する」、「ときどき参加する」を合わせると、58%の回答者がサークル活動に参加していることが分かる。他方で、「参加しない」、「あまり参加しない」と回答した割合は 42%であった。ここから、南部町において、住民の方々はときおりサークル活動に参加し、趣味やスポーツを楽しんでいると考えられる。

図 4 3 ボランティア活動への参加



ボランティア		
	度数	パーセント (%)
参加する	181	13.8
ときどき参加する	461	35.2
あまり参加しない	363	27.7
参加しない	304	23.2
合計	1309	100.0

図 4 3 は、回答者のボランティア活動（福祉、環境美化など）への参加率を示したものである。最も多い回答は、ボランティア活動に「ときどき参加する」（35%）である。「参加する」、「ときどき参加する」と回答した割合は 49%である。他方で、「参加しない」、「あまり参加しない」を合わせると、51%の回答者がボランティア活動に参加していないことが分かる。